

プラセンタ注射 説明書・同意書

メルスモンは、1956年に厚生労働省で許可を受けている医療用医薬品です。
国内の安全なヒト胎盤を原料とした注射薬で、多種のアミノ酸を含有しています。

【主な効果・改善】

更年期障害による諸症状（のぼせ、不眠、イライラ感、冷え、頭痛、肩こり、腰痛等）
産後の乳汁分泌不全

【副作用】

注射部位の疼痛、発赤、悪寒、発熱、発疹等が起こることがあります。
問題がある場合は医師に申し出てください。

【ウイルスや細菌などに対する安全性】

胎盤一つずつに対してウイルス検査を実施し、HBV・HCV・HIV陰性であることが確認された安全な胎盤を原料としています。更に最終段階に121℃・30分間の高圧蒸気滅菌を実施しておりウイルス・細菌の感染防止対策をとっております。
これまで、本剤によると思われるウイルス感染の発生報告はありません。

【変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）に対する安全性】

1980～2004年頃まで英国を中心に狂牛病（牛海綿状脳症：BSE）が流行し、その肉の摂取が関連すると思われるウイルスvCJDの発症報告がありました。メルスモンはこの狂牛病が流行した時期にそれらの地域に滞在経験がある方の胎盤は原料として使用しておりません。更に製造工程で高熱処理を実施しているため原因蛋白質は分解されています。

【投与方法】

メルスモンは1～2バイアルを週1回上腕伸側等に皮下注射します。

【献血制限および臓器提供制限について】

世界では輸血や移植による感染が疑われる報告もありますが、メルスモンはこれまで感染の報告はありません。しかしながら理論的なvCJD等の感染の危険性は完全には否定できません。

そのため、メルスモンを含むヒト由来製剤の使用者は献血できません。また臓器提供の場合も同様ですが、移植希望者が移植医から適切な説明を受けたうえで、提供を受ける意思を明らかにしている場合は、その限りではありません。

同 意 書

長坂クリニック 長坂正仁院長 殿

私は上記内容について十分に理解し、プラセンタ（メルスモン）注射を受けることに同意します。

年 月 日 氏名
